



# あつま

# 議会だより

6月定例会号

No. 164

平成28年7月発行



## 上厚真連合大運動会 (さくら保育園園児)

|  |       |
|--|-------|
| 第2回定例会、臨時議会(補正予算).....                 | 2~3   |
| 委員会活動レポート                              |       |
| 総務文教常任委員会：厚真高等学校の存続に向けた支援について.....     | 4     |
| 【道外視察】                                 |       |
| 総務文教常任委員会：土井ヶ浜遺跡、山国支所管内の地域振興について.....  | 5     |
| 産業建設常任委員会：農業6次産業化、大山町農協のNPC運動について..... | 6     |
| 一般質問「ここが聞きたい」                          |       |
| 伊藤富志夫、森田正樹、下司義之3氏が問う.....              | 7~9   |
| 町内行政視察(平成27年度の行政効果)フォトレポート.....        | 10~11 |
| 議決案件(賛否状況).....                        | 12    |
| 議会のうごき.....                            | 13    |
| 北海道町村議会議員研修会、スポーツ少年団(厚真流水館).....       | 14    |

# 6月定例会

6月7日定例会が開催され、一般質問3人、議案16件、報告6件が付議された。また、閉会中の議員研修の派遣、総務文教常任委員会、産業建設常任委員会の事務調査等が報告された。

## 議案第5号～第7号・第16号 財産の取得

| 財産の名称          | 取得金額   | 取得の相手方              |
|----------------|--------|---------------------|
| 戸籍総合システム機器     | 1382万円 | 北海道市町村備荒資金組合        |
| 除雪トラック（10t専用車） | 4209万円 | UDトラックス北海道株式会社苫小牧支店 |
| スクールバス         | 810万円  | 札幌トヨタ自動車株式会社苫小牧支店   |
| 学校給食センター厨房機器   | 2052万円 | 株式会社中西製作所北海道支店      |

## 議案第8号 請負契約の締結

町道新町フォーラム線道路改良工事

契約金額 6674万円

契約の相手方 丸斗・丸博野沢経常建設共同企業体

## 議案第9号～第10号 請負契約の締結

厚真中学校校舎大規模改修工事

（建築工事）契約金額 1億119万6千円

契約の相手方 矢部・武山経常建設共同企業体

（機械設備工事）契約金額 6696万円

契約の相手方 進興・木本経常建設共同企業体



# 平成28年度補正予算

## 小規模多機能型居宅介護事業所整備事業

事業予算額 5290万円

町民福祉課福祉G

利用者が可能な限り自立した日常生活をおくることができるよう、通所（デイサービス機能）・訪問（ヘルパー機能）・宿泊（ショートステイ機能）を同一の事業所で一体的に提供できるよう、高齢者グループホームやわらぎに宿泊棟を増設。

財源内訳

国庫支出金 3200万円  
地方債 2090万円

## 合板・製材生産性強化対策事業

事業予算額 7500万円

産業経済課商工観光林業水産G

森林が持つ木材生産や公益的機能発揮のため、適正な管理を継続する上で重要な林業専用道の整備を進め、森林の計画的な管理を推進するための基盤を整える。

幌里地区（幌里チケッペ川線）： 900m

桜丘・幌里地区（桜丘本線）： 1100m

幌内地区（幌内マッカウス線）： 1000m

財源内訳

道支出金 7500万円

## 起業家人材育成事業

事業予算額 3184万円

産業経済課商工観光林業水産G

主に、地域おこし協力隊として起業を希望する人材を首都圏中心に集め、起業家人材の集団を形成し、本町へ誘導することを目的とした「ローカルベンチャー推進事業」を実施。

さらに、本町での継続的な起業家支援体制を整備することを目的とした「地域商社設立準備事業」および起業家育成の様子や地域全体の魅力を発信し、本町のファン層を形成することを目的とした「地域メディア作成事業」を実施。

### 財源内訳

|       |        |
|-------|--------|
| 国庫支出金 | 1580万円 |
| 町の財源  | 1604万円 |

## 地方創生に向けて「がんばる地域」応援事業

事業予算額 100万円

生涯学習課社会教育G

町環境保全林を会場に、飲食、木工などのクラフト体験、プレーパークなど子育て世代が親子で楽しめる環境を構築し、本町の魅力を対外的にPRする。

### 財源内訳

(財)地域活性化センター助成金 100万円

# 臨時会

第2回 4月26日開会  
第3回 7月1日開会

## 第2回臨時会

■行政不服審査法の全部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の一部改正

地方税法の改正に伴い、行政不服審査法の全部改正に伴う関係条例の整理に関する条例が一部改正されました。

■厚真町税条例の一部改正

地方税法の改正に伴い、厚真町税条例が一部改正されました。

### 【専決処分の承認】

■平成27年度介護保険事業特別会計補正予算（介護サービス事業勘定補正予算）

厚南デイサービスセンター浴室機器修繕のため101万6千円が追加され、歳入歳出の総額が3071万5千円になりました。

■平成27年度一般会計補正予算  
地方交付税の額の確定、寄付金の採納、道交付金の追加交付に伴う財源調整および剰余金の基金積立、ふるさと寄付金推進事業の追加のため1億1537万4千円が追加され、歳入歳出の総額が78億2417万8千円になりました。

■平成28年度一般会計補正予算  
介護保険事業特別会計への繰出のため446万6千円が追加され、歳入歳出の総額が60億846万6千円になりました。

■平成28年度介護保険事業特別会計補正予算（介護サービス事業勘定補正予算）

厚南デイサービスセンター浴室機器更新のため446万6千円が追加され、歳入歳出の総額が2386万6千円になりました。

## 第3回臨時会

### ■行政報告

6月16日から17日にかけての大雨による公共施設および農業施設等の被害について、町長から行政報告がありました。

■富里地区浄水場建設工事（機械・電気）請負契約の締結  
・契約の方法  
指名競争入札

・契約金額  
10億7784万円  
・契約の相手方  
新栄・木本・矢部・厚信特定建設工事共同企業体

■町道路線の廃止・認定  
桜丘本線の林道専用道開設事業に伴い、町道の廃止・認定を行いました。

〔廃止〕(起点)字桜丘221番地／(終点)字幌里20番地3  
〔認定〕(起点)字桜丘221番地10／(終点)字桜丘22番地



# 委員会 レポート

## 総務文教常任委員会

委員会は、4月20日に土井ヶ浜遺跡(山口県下関市)、4月22日に大分県中津市山国支所(大分県中津市)を訪問し、埋蔵文化財を活用したまちおこしと複合文化施設を核とした地域振興について所管事務調査を行った。また、5月11日には厚真高校の存続に向けた支援について調査を行った。



通学バスを利用する厚真高校生

# 厚真高校存続に向けた支援を調査

(主な質疑)

通学バス対策は

問 厚真高校は、平成25年度の入学人数が27人となった。それ以前は大体35人以上を確保していた。平成25年度は、沼ノ端地区から鶴川高校へ進学する生徒が極端に増えた年で、その理由としては無

料スクールバスが運行されたことが考えられる。また、今年度は安平町からの進学が一人もいない

が、沼ノ端駅から追分高校へ送迎バスが出されたことによるものと思われる。

通学に当たって地理的要件は大きな経済的負担にもなるし、通学時間も

負担になる。厚真高校振興会への支援もそのような内容を検討しては。

教育長 近隣がそういう改善を次々とやっている中で、当然その手立てとしては厚真町もしていかなければならないと思います。今回提案をさせていただ

町内からの進学者増を

問 平成20年度から町内からの進学者が減っている。厚真高校の存続を確かなものにするためには、地元生徒が厚真高校へ進学するような状況、ビジョンをつくるのが大事だと思うが。

教育長 教育活動上、教育課程上の魅力づくりということであるが、これまで、子どもたちのニーズも絡みながら、学校として、教育活動上のきちんとした魅力づくりをやってきている。これからもそれは充実しているかと考えている。

問 町内の中学生に対して、厚真高校に進学したときに、特別なメリットがあるかと進学率が高くなるのではないかと。具体的な話があった。具体的な方法としては、制服を助成するとか。また、高校卒業後の進学にあたって特別な奨学金制度を設けるなど、そういうような制度を作るのはどうか。

教育長 いま提案されたことについては、非常に意義があるのかなという感じがしている。今後また検討の中に加えていきたいと思う。

厚真高校入学者数の推移

単位：人、%

| 年度    | 入学者 | 町内 | 対入学者の地元割合 | 町外生の出身地別内訳 |           |     |      |      |     |     |
|-------|-----|----|-----------|------------|-----------|-----|------|------|-----|-----|
|       |     |    |           | 町外         | 対入学者の町外割合 | 安平町 | 苫小牧市 | むかわ町 | 千歳市 | その他 |
| H16年度 | 35  | 23 | 65.7      | 12         | 34.3      | 6   | 5    | 1    |     |     |
| H17年度 | 35  | 22 | 62.9      | 13         | 37.1      | 10  | 3    |      |     |     |
| H18年度 | 39  | 20 | 51.3      | 19         | 48.7      | 4   | 14   |      | 1   |     |
| H19年度 | 40  | 24 | 60.0      | 16         | 40.0      | 4   | 10   |      | 1   | 1   |
| H20年度 | 36  | 12 | 33.3      | 24         | 66.7      | 5   | 19   |      |     |     |
| H21年度 | 39  | 13 | 33.3      | 26         | 66.7      | 8   | 18   |      |     |     |
| H22年度 | 39  | 17 | 43.6      | 22         | 56.4      | 7   | 15   |      |     |     |
| H23年度 | 40  | 14 | 35.0      | 26         | 65.0      | 3   | 23   |      |     |     |
| H24年度 | 35  | 13 | 37.1      | 22         | 62.9      | 12  | 8    | 1    |     | 1   |
| H25年度 | 27  | 11 | 40.7      | 16         | 59.3      | 1   | 9    |      |     | 1   |
| H26年度 | 32  | 4  | 12.5      | 28         | 87.5      | 9   | 18   |      |     | 1   |
| H27年度 | 37  | 9  | 24.3      | 28         | 75.7      | 8   | 20   |      |     |     |
| H28年度 | 23  | 7  | 30.4      | 16         | 69.6      |     | 16   |      |     |     |

## 埋蔵文化財を活用したまちおこしを調査

4月20日、山口県下関市にある土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムを視察した。約300体の弥生時代の人骨や副葬品などを出土した国指定史跡の全容を紹介している。

施設内の弥生シアターでは、3D立体映像「よみがえる弥生人」を楽しめ、また、人骨出土の密

度が一番高い部分にドームを設け、約50体の人骨が発掘時の姿で復元されていて、年間1万人の来場者がある。

厚真町の厚幌ダム関連発掘事業は平成28年度終了予定である。発掘された貴重な資料は、青少年センターを改修し公開展示をする方針であるが、

多くの人に見学してもらえ、施設・運営を考えなければならぬと感じた。



シアターの座席は渡来船型



土井ヶ浜  
弥生パーク  
案内図

## 複合文化施設を核とした地域振興を調査

4月22日、大分県中津市山国地区にある複合文化施設「コアやまくに」を視察した。

山国地区は平成17年3月、合併により中津市に組み込まれた旧山国町で、人口は平成28年3月末現在2478人である。面積は約11.9km<sup>2</sup>、うち92・4%を山林が占める。

旧山国町は、巨額な投資をして若者の定住移住を推進したが、結果としては人口減に歯止めがきかず、中津市と合併した。

しかし、合併によりさらに過疎化が加速し、合併後10年間で24・6%の人口減となった。

勢の変化を見据え、長期的な視野に立った計画づくりが求められると感じた。

「コアやまくに」は、敷地面積26756m<sup>2</sup>、建築面積5806m<sup>2</sup>、床面積9372m<sup>2</sup>に、シアターと称するイベントホールや図書館、タウンホール、ミュージアム、アトリエ、シンボルタワー、スケートリンク、物産館、役場支所が配置された複合文化施設である。

視察の目的は、現在厚真町で進められている公共施設等総合管理計画の参考であった。



複合文化施設 コアやまくに



# 委員会 レポート

## 産業建設常任委員会

委員会は平成28年第1回定例会で議決を得た所管事務調査について、4月19日に川根<sup>ゆず</sup>協同組合(広島県安芸高田市)を、4月21日に大分大山町農業協同組合(大分県日田市)を訪問し、農業6次産業化とNPC運動について調査を行った。

### 農業の6次産業化について 広島県川根地区

#### □安芸高田市川根地区

平成16年に県北部6町が合併した安芸高田市は、32の地域振興協議会で住民自治を行っている。

川根振興協議会は昭和52年、地区の存続危機を憂い、地域で栽培していた柚子のさらなる栽培技術向上とその商品化に取り組み。これが、「柚子を生かした村おこし」の出发点となる。

#### □川根柚子振興協議会

昭和56年、川根振興協議会は独立して川根柚子



根柚子協同組合の熊高さん

生産振興協議会を結成、加工場を設置し、加工品への転換を行う。

平成2年に川根柚子振興協議会に名称を変更し、平成24年には川根柚子協同組合に組合登記し、新たな雇用と柚子畑、柚子木の管理を広げていく。

#### □主な商品

ゆずみそ(昭和59年広島県特産品フェアで銀賞受賞)、ゆずジャム、ゆずゼリー、ゆず酢、ゆずまんじゅう、ゆずようかん、ゆずポン酢、ゆずようかん、ゆずジュース



#### □まとめ

農業を使わない天然の木に実る柚子果や香り高い果汁などを生かした特

長ある加工品開発と販路拡大を行う川根柚子協同組合の取り組みは、高齢化や担い手不足、価格の低迷で農家所得が上らないという状況を、加工・販売とつなげる6次産業化を行うことで、所得の安定と活性化を生み出すと示唆している。

本町農産物のブランド化と付加価値向上も、生産者と行政が協力して進めることが求められる。

### 大山町農業協同組合のNPC運動について

#### □大山町・大山農協

大分県西部に位置し、平成16年に2町3村の合併で大山町となる。

大山町農協の正組合員数は593戸、準組合員数は265戸で、職員数は男性44人、女性18人である。

#### □農協の取り組み

戦後間もなく農協が発足、3代目組合長の尽力



で今日の基礎を築く。

現在は、農産物の加工事業と木の花ガルトン(農産物直売所・レストラン)を中心に事業展開している。経済事業取扱高は50億円以上と非常に高い。パート職員も200人以上で、地元経済に大きく貢献している。

#### □NPC運動

大山農協のNPC運動は昭和36年から展開し、常に夢と希望を与え続け、死より生への原動力となり、基本理念の「働く」「学ぶ」「愛し合う」が人生哲学として浸透している。

木の花ガルトンの外観・商品



具体的には、高次元農業の開発(山間地での梅・栗・ブドウ栽培と果樹産地としての確立や、天候に左右されない施設でキノコ類の生産)と、他に先駆けた取り組み(農業者によるレストラン)がある。所得追求を目的とし、生産・加工・流通と6次産業化を意欲的に進めている。

#### □まとめ

九州と北海道との違いはあるが、農業者の所得確保に向けた6次産業化の関係諸団体の積極的な取り組みが地域経済をつくり、まちづくりを推進していくことが求められる。

## 一般質問

ここが聞きたい

## 防災対策

# 防災教育、自治会単位の研修、組織化をどう進めるか

## 答 防災知識の習得とリーダーを育てたい

問 防災無線のデジタル

化の普及率はどのくらいか、その双方向連絡の計画化はないか。

また、平成28年度町長施政方針で「高齢化と地域コミュニティの低下を心配し、いざという時の災害に対する心構え、事前知識の必要」を唱え、「防災教育、自治会単位研修、地域防災組織の組織化」を言うが、町はそこをどのように進めるか

計画を聞きたい。

町長 防災無線のデジタル化進捗状況は、本機が終了、個別受信機が約95%終了、厚南地区の中継局はまだアナログ対応だ。双方向通信については、

技術的なことより法律的に制限されて出て来ない。

防災対策については、ハード的な社会基盤等とソフト的な地域コミュニティ対応をそろえることが必要で、後者ではまず町民に防災

知識を習得してもらい、リーダーを育てたい。今年はとりあえず地域3カ所

所で訓練または研修をする。市街地での進め方は研究がいる。



伊藤富志夫 議員



6月17日の大雨で土砂崩れした富里地区

## 労働と雇用

# 発掘調査従事者の失業・雇用対策は

## 答 企業調査をして知らせたい

緊急雇用対策等を関係機関と連携してつくり出せないか。

町長 28年度をもって大部分の調査は終了するので、今後の雇用について心配されるのはわかるが、雇用対策を講じられるかは非常に難しい。1年間臨時的に仕事をつくっても、決して恒常的なことにはならない。恒久的な対策としては民間事業所にマッチングさせるのがベストではないかと考えており、苦東の企業あるいは町内の企業等に雇用のチャンスがあるかどうかを町独自に調査し、発掘調査業務にあたっての方々にお知らせしてマッチングを図るなど、ハローワークだけに頼らず企業に協力を求めている。

（こんな質問もしました）

問 職員の超過勤務が増えている原因は。

答 さまざまな対応事情が増えた。

## 一般質問

ここが聞きたい

## 教育支援



森田正樹 議員

**問** 全国学力学習状況調査で小中学校とも全国平均に達し、学力向上委員会を中心に高い授業づくりを目指して「学力意欲の向上」と掲げ、教育に力を入れている。小中学校、また学年によつて費用は異なるが教材費がかかる。そこで、学力向上を目指しているのであれば、義務教育9年間の教材費を無料にしてはどうか。

**教育長** 保護者の負担の教材費は、小学校低学年が平均年6千円で高学年が平均年9千円ほど、中学校1～3年生が平均年1万4千円で、これらの

**義務教育9年間の教材費を無料にしては**

**答**

一定程度の負担をしていただく

補助教材については、学習の定着を図るために学校や家庭で使用するドリルや問題集などで、これらについては保護者に負担をお願いしている。

の定着が大切であることから、学習上に関する教材については一定程度の負担をしていただく。

今後も、児童・生徒の教育を推進するために直接要する費用は予算に計上し、子どもたちの資質、能力を高め、定着を図っていく。その中で、家庭が日々子どもたちとかわつて、学習



小学生用教材

## 議会を傍聴しませんか

定例会は、毎年3月・6月・9月・12月に行われます。  
臨時会は、審議する案件が緊急のときなど、必要に応じて行われます。

どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。  
また、定例会・臨時会とも、議会ホームページで議会の様子を生中継していますので、インターネットでもご覧いただけます。



■問合せ先 厚真町議会事務局 (☎ 27 - 2485)



## 一般質問

ここが聞きたい

### 観光振興

# こぶしの湯あつま大規模改修の概要は

## 答 調査報告を参考にしながら計画を立てる

**問** 本町の観光拠点であるこぶしの湯あつまは、町第4次総合計画において大規模改修を進めるとあり、今年5月には調査業者の募集が行われたが、今後のスケジュールと改修の方向は。また、運営方法は今後も指定管理制度を使うか。

**町長** こぶしの湯あつまは、既にオープン以来20年を経過していて、最近

は大型の故障、改修経費がかさんでいるので、そろそろ大規模な改修が必要と考えている。

また、現在の指定管理契約が平成28年度いっぱいなので、この機会にしっかりとリニューアル構想を策定すべく、コンサルタントに調査業務を委託している。改修時期は、最短で平成30年度を予定している。運営方法は、今後も指定管理制度を考えている。



下司義之 議員



こぶしの湯あつま

### 観光振興

# 新たな形態のホテル事業導入による地域活性化を

## 答 非常に興味がある

**問** 過疎化に伴う空き家の問題、新たな雇用の場の確保、体験型観光の推進、これらに総合的に取り組む施策として、イタリアで生まれたアルベルト・ディフーズと呼ばれる新たなホテル形態が注目されている。厚真町の観光振興策としても期待

できると思うが。

**町長** イタリアと日本は似たような地形で、地方に空き家が増えてくると同じような状況が発生してくるんだと思う。

いわゆる地方に空き家が増えると、観光資源としてそれをうまく活用する、ということでは非常に興味がある。町内の状況に照らしても、さまざまな法的規制はあるが、グリーンツーリズム法の活用などにより規制を突破する計画もあり、今後十分研究する価値があると思う。

### 用語説明

**アルベルト・ディフーズ** 空き家・空き店舗などを活用して観光客を呼び込み、地域を活性化させようとして始まった宿泊形態（分散型宿泊）。

### （こんな質問もありました）

**問** 防災広報のあり方は適正か。

**答** ルール作りについて、消防組合と協議する。

# 平成27年度の行政効果と 今年の作況状況を現地調査

行政視察

## 平成28年度議会議員町内行政視察

7月14日、平成27年度に執行された事業の確認と厚幌ダムの工事状況、農作物の作況等を確認する「町内行政視察」を行い、町内10カ所を視察しました。



富里地区沈砂池建設工事



厚幌ダム建設工事現場



スケートリンク整氷車格納庫・管理棟建設工事



幌内地区環境整備工事



体育館



手すりつきスロープ

厚真中学校（屋体天井改修工事、大規模改修工事、屋体系統温風暖房機改修工事、再生可能エネルギー設備工事）



太陽光パネル



蓄電池



富里地区浄水場・  
配水池建設工事現場





◇平成28年度議会議員町内行政視察◇

上厚真かえで公園整備工事、  
公衆便所建設工事



北海道電力(株) 苫東厚真発電所



苫東厚真発電所屋上からの眺望



畑作物生育状況 (共和地区)



宮の森こども園・厚南児童会館 (建設工事)



水稲生育状況 (宇隆地区)



視察の様子





## 定例議会・臨時議会の議決案件（賛否状況）

平成28年 4月26日（火）（臨時議会）

| 議案番号  | 議 件 名   | 賛 否  |
|-------|---|------|
| 議案第1号 | 行政不服審査法の全部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の一部改正                     | 賛成全員 |
| 議案第2号 | 厚真町税条例等の一部改正  | 賛成全員 |
| 承認第1号 | 専決処分の承認（平成27年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（介護サービス事業勘定補正予算（第3号））） | 承認全員 |
| 承認第2号 | 専決処分の承認（平成27年度厚真町一般会計補正予算（第12号））                      | 承認全員 |
| 承認第3号 | 専決処分の承認（平成28年度厚真町一般会計補正予算（第1号））                       | 承認全員 |
| 承認第4号 | 専決処分の承認（平成28年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（介護サービス事業勘定補正予算（第1号））） | 承認全員 |

平成28年 6月7日（火）（定例議会）

| 議案番号   | 議 件 名                                    | 賛 否  |
|--------|--|------|
| 議案第1号  | 厚真町議会会議規則の一部改正                           | 賛成全員 |
| 議案第2号  | 北海道市町村総合事務組合規約の一部変更                      | 賛成全員 |
| 議案第3号  | 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の一部変更                | 賛成全員 |
| 議案第4号  | 北海道市町村職員退職手当組合規約の一部変更                    | 賛成全員 |
| 議案第5号  | 財産の取得                                    | 賛成全員 |
| 議案第6号  | 財産の取得                                    | 賛成全員 |
| 議案第7号  | 財産の取得                                    | 賛成全員 |
| 議案第8号  | 町道新町フォーラム線道路改良工事請負契約の締結                  | 賛成全員 |
| 議案第9号  | 厚真中学校校舎大規模改修工事（建築工事）請負契約の締結              | 賛成全員 |
| 議案第10号 | 厚真中学校校舎大規模改修工事（機械設備工事）請負契約の締結（木本議員除斥）    | 賛成全員 |
| 議案第11号 | 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定                     | 賛成全員 |
| 議案第12号 | 町道路線の認定                                  | 賛成全員 |
| 議案第13号 | 平成28年度厚真町一般会計補正予算（第2号）                   | 賛成全員 |
| 議案第14号 | 平成28年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（保険事業勘定補正予算（第1号）） | 賛成全員 |
| 議案第15号 | 平成28年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）             | 賛成全員 |
| 議案第16号 | 財産の取得                                    | 賛成全員 |

平成28年 7月1日（金）（臨時議会）

| 議案番号  | 議 件 名                             | 賛 否  |
|-------|-----------------------------------|------|
| 議案第1号 | 富里地区浄水場建設工事（機械・電気）請負契約の締結（木本議員除斥） | 賛成全員 |
| 議案第2号 | 町道路線の廃止                           | 賛成全員 |
| 議案第3号 | 町道路線の認定                           | 賛成全員 |

### おわびと訂正

議会だよりNo. 163（3月定例会号）中に誤りがありましたので、訂正しておわびいたします。

12ページ 委員会レポート 国営農業用水再編対策事業「計画の内容」中、

（二期）地区の事業負担金について（見込み）の負担額

【誤】263億7百万円 【正】26億3千7百万円



# 北海道町村議会議員研修会に参加して

## 三 國 議 員

平成28年度「北海道町村議会議員研修会」が7月5日、札幌コンベンションセンターで開かれ、厚真町議会議員全員が出席した。  
講師は、立正大学客員教授の高野誠鮮氏、東京新聞・中日新聞論説副主幹の長谷川幸洋氏のお二人であった。

はじめに、高野誠鮮氏が「ひとを動かし、まちを動かす」と題して講演。今年3月まで石川県羽咋市役所職員だった高野氏は、高齢化が進み限界集落となっていた神子原地区を活性化させ、自立・自活する山村集落づくりを目指した。「行動することこそ地域を変えろ」という信念のもと、里山農村の過疎・高齢化の原因を探り、未活用資源の発掘と活用という政策理念「羽咋イズム」を立て、1・5次産業の創出や3つの基本戦略に沿った対策を講じた。また、役所やJAからの自立・自活を図るため、農家だけで作る株式会社（株神子の里）の設立に尽力。年45回の会議を行い、資本金300万円を農家169戸中131戸が出資した。

（株神子の里は「①店舗、加工場はご婦人が設計②外観のお金をかけないプレハブ③質の悪いものは売らない」を鉄則として運営されている。農家が自ら値段をつけて売る方式は農家のやる気に火をつけ、結果「年金よりも多くなった」、「もったいない野菜を」、「山奥でもみんなで力を合わせてやっていける」という思いが生まれ、神子原の過疎に「待った」をかけることとなった。  
講演を聞き、消費者の目から見たより良いお米、野菜をつくり、生活に密着していくことが、厚真の農業の活性化につながるのではないかと感じた。  
続いて、長谷川幸洋氏が「日本の行方」政局・政治展望」と題し、世界の情勢や外交問題、経済等について講演。世界情勢について「今までは平和と繁栄（共存共栄・相互依存原理）だったものが崩れてきている。国際協調から自国優先主義へ傾いてきており、日本の外交のあり方や政策対応を見直さなくてははいけなくなってきている」と長谷川氏。また、経済について「世界経済は良くない状況。日本も、金融政策や規制緩和など政策の転換を迫られている」と危機感を募らせていた。

## スポーツ少年団紹介

## 厚真流水館(剣道)

厚真流水館（高橋康夫館長）は、平成20年に発足しました。現在、団員11人、指導者5人の計16人で活動しています。

活動日は月・水・土の週3回。

全道から集まる「赤胴」少年剣道錬成大会や、町内で開かれる厚真剣道錬成交流会など、町内外の大小さまざまな大会へ参加しています。

### 【活動日時・場所】

|   |             |          |
|---|-------------|----------|
| 月 | 19:00～20:30 | 児童会館     |
| 水 | 18:30～20:30 | スポーツセンター |
| 土 | 9:00～11:30  | スポーツセンター |

